

# 「ノダ文」 相対化の試み ～ 時空間変異からのアプローチ ～

- 01** 14:00-14:10 趣旨説明  
14:10-14:30 高橋新 (山梨県国中方言におけるサと「ノダ文」)  
14:30-14:50 幸松英恵 (近世江戸語のノサと「ノダ文」)  
14:50-15:10 論点の整理と質疑応答  
休憩10分
- 02** 15:20-15:30 高橋新 (山梨県 国中方言における疑問文のダケ・デ)  
15:30-15:50 林淳子 (近世江戸語の疑問文におけるノカ・ノダ)  
15:50-16:10 野間純平 (島根県出雲方言の疑問文における諸形式と「ノダ文」)  
16:10-16:30 論点の整理と質疑応答  
休憩10分
- 03** 16:40-17:30 全体討論

本企画では、文法史研究および方言文法研究の立場から、現代共通語とは異なる時空間に存在し、現代共通語とは現れ方の異なるノダ相当形式の事例について考えることで、現代語の(いわゆる)「ノダ文」の相対化を試みます。

第1セッションでは、「ノダ相当形式」と言われる山梨県国中方言における「サ」と近世江戸語の「ノサ」との繋がりについて考えます。

第2セッションでは、山梨県国中方言の「ダケ」「デ」による疑問文の使い分けと、近世江戸語の疑問文において見られる「ノカ」と「ノダ」の使い分けの類似性を確認する一方、島根県出雲方言の疑問文に見られる諸形式から、異なる手段で「ノダ文」に相当する意味を表す方言における、ノダ相当形式との関係を考えます。

**2026. 3.13 (金)**

**14:00～17:30**

(受付開始: 13:40～)

## 発表者 (登壇順)

高橋新	東京外国語大学 博士後期課程
幸松英恵	東京外国語大学 准教授
林淳子	東京大学 准教授
野間純平	島根大学 准教授

場所: 東京外国語大学 研究講義棟 419号室【語学研究所】  
(西武多摩川線 多磨駅より徒歩5分)

形態: 対面とZoom会議のハイブリッド

参加: 参加費無料。2日前までに右のQRコードから事前申込が必要  
事前申込者に発表資料とZoomURLを案内



申込締切: 3月11日(水)